

水痘(水疱瘡)ワクチン: 知っておくべきこと

Many Vaccine Information Statements are available in Japanese and other languages. See www.immunize.org/vis
多くのワクチン情報の説明が、日本語やその他の言語で利用することができます。
www.immunize.org/visを見てください。

1 ワクチン接種を受ける理由は?

水痘(水疱瘡とも呼ばれます)は接触感染性のウィルス性疾患です。水痘帯状疱疹ウィルスにより起こります。水疱瘡は通常軽度ですが、12カ月以下の幼児、青少年、成人、妊娠した女性、および免疫系が弱った方の場合、重篤になる場合があります。

水疱瘡により痒みを伴う発疹が起こり、通常約1週間続きます。また、以下の症状も引き起こす場合があります。

- ・発熱
- ・倦怠感
- ・食欲不振
- ・頭痛

さらに重度の合併症として以下のような症状が起こる場合もあります。

- ・皮膚の感染症
- ・肺の感染症(肺炎)
- ・欠陥の炎症
- ・脳および脊髄の被膜の腫れ(脳炎や髄膜炎)
- ・血流、骨、関節の感染症

中には、体調が悪化し入院が必要になる方もいます。頻繁には起こりませんが、水疱瘡から死亡に至る場合があります。水痘ワクチンが行われる前、米国ではほぼ全員が水疱瘡にかかっていた。毎年、平均 400 万人の方々です。

水疱瘡にかかった子供は最低 5~6 日間、学校またはチャイルドケアを休みます。

水疱瘡にかかった方々の中には、何年か後に、帯状疱疹(帯状ヘルペス)と呼ばれる痛みを伴う発疹を発症する方もいらっしゃいます。

水疱瘡は、罹った方から、罹ったことのない方や水疱瘡ワクチン接種を受けていない方に簡単に伝染する可能性があります。

2 水疱瘡ワクチン

12 カ月~12 歳のお子さんは水疱瘡ワクチンを2回接種する必要があります。通常、

- ・初回接種:月齢 12~15 カ月
- ・2 回目の接種:年齢 4~6 歳

小児の時にワクチンを受けなかった 13 歳以上の方、水疱瘡に罹ったことのない方は、28 日以上間をあけて 2 回の接種を行う必要があります。

これまでに水疱瘡ワクチン接種を 1 回だけ受けた方は、一連の接種を完了するため2回目の接種を受けるべきで

す。2 回目の接種は、13 歳以下の方の場合、初回接種を受けた3カ月以上後に受ける必要があり、13 歳以上の方の場合は初回接種の 28 日以上後に受ける必要があります。

他のワクチンと同時に水疱瘡ワクチンを接種することについてのリスクはわかっていません。

MMRVと呼ばれる組み合わせワクチンがありますが、これには水疱瘡と MMR ワクチンが含まれています。MMRV は 12 カ月~12 歳の子供にとって選択肢となる場合があります。MMRV については別のワクチン情報の説明があります。担当の医療従事者が詳しい情報を教えることができます。

3 このワクチンを受けるべきでない方もいます

以下のような方がワクチンを受ける場合には、担当するワクチン接種を行う医療従事者にそれをお伝えしてください。

- ・ **重度の、命に関わるアレルギーを持っている。**水疱瘡ワクチンを 1 回投与した後、命に関わるアレルギー反応が起こったことがある方、またはこのワクチンの成分に対し重度のアレルギーをお持ちの方には、ワクチン接種を受けないことをお勧めする場合があります。ワクチンの成分についてお知りになりたい場合には、担当の医療従事者にお尋ねください。
- ・ **妊娠している、または妊娠している可能性がある。**妊娠している女性の方は、妊娠期間が終わるまで水疱瘡ワクチン接種をお待ちいただく必要があります。水疱瘡ワクチンを接種した後1カ月以上は妊娠を避けて頂く必要があります。
- ・ **病気(がんや HIV/AIDS など)または医学的な治療(放射線療法、免疫療法、ステロイド、化学療法)により免疫系が弱っている方。**
- ・ **免疫系に問題があった履歴を持つ両親、ご兄弟(姉妹)をお持ちの方。**
- ・ **サリチル酸塩(アスピリンなど)を服用している。**水痘を含むワクチンの接種を受けた方は、6 週間のあいだサリチル酸塩の使用を避ける必要があります。
- ・ **最近輸血を受けた、またはほかの血液製剤を受けたことがある方。**3 カ月以上、水疱瘡のワクチン接種を遅らせるようアドバイスを受ける場合があります。
- ・ **結核の方。**

- ・過去 4 週間以内に他のワクチンを受けた。生ワクチンを近いうちに受けることもうまくいかない場合があります。
- ・体調がすぐれない。風邪のような軽い病気にかかっている場合は、通常ワクチン接種を遅らせる理由になりません。中程度または重い病気にかかっている方はおそらくお待ちいただく必要があります。担当医師がアドバイスいたします。

4 ワクチンの反応のリスク

ワクチンを始めとしていかなる医薬品によっても反応が起こる可能性はあります。これらは通常軽度で、自然に治りますが、重篤な反応となる可能性もあります。

水疱瘡ワクチンの接種を受ける事は水疱瘡という病気にかかるよりもずっと安全です。水疱瘡ワクチン接種を受けるほとんどの方々にはそれによる問題はありません。

水疱瘡ワクチン接種を受けた方が、その後経験する可能性があるのは、

軽度の症状：

- ・注射による腕の痛み
- ・発熱
- ・注射部位の発赤または発疹

これらの症状が起こる場合、通常注射の 2 週間以内に始まります。それらは 2 回目の接種後にはあまり起こりません。

より重度な症状が水疱瘡ワクチン接種後に起こることは稀です。より重度な症状とは、

- ・痙攣(びくびくする、毛が逆立つ)は発熱に伴ってよく起こります
- ・肺の感染症(肺炎)や脳および脊髄の被膜の感染症(脳炎や髄膜炎)
- ・全身の発疹

水疱瘡ワクチン接種後発疹が現れたお子さんは、抗体のない方に水痘ワクチンウィルスを伝染する可能性があります。非常に稀にこのような現象が起こったとしても、発疹がなくなるまで、その方を弱った免疫系の方々やワクチン未接種の幼児から遠ざけておく必要があります。詳しくは、担当の医療従事者にご相談ください。

このワクチン接種の後起こる可能性があること：

- ・ワクチン接種を含め、医学的な処置により失神する方もいます。約 15 分間、椅子にお座りになるか横になることで失神し転倒により怪我をするのを防ぐことができます。目まいや視力の変化、耳鳴りなどを感じたら、担当医師にお伝えください。
- ・注射の後通常の痛み以上に重い肩の痛みが起こったり、長く続く方もいます。このようなことが起こることはめったにありません。
- ・どのような医薬品でも重いアレルギー反応が起こる場合があります。ワクチン接種に対するこのような反応はおよそ百万回の投与に1回と見積もられています。また反応が起こるとしたら、ワクチン接種後数分から数時間以内に起こる可能性があります。

あらゆる医薬品による場合と同じく、ワクチン接種により重篤な障害や死亡が起こる可能性はごくわずかにあります。

ÔÏP ÈÍ ÍRÁÓËWPKÚËP ÁUËÓÁ GÁU & ÁGFG È

Translation provided by the Immunization Action Coalition

ワクチン接種の安全性は常にモニターされています。詳しい情報につきましては、www.cdc.gov/vaccinesafety/ を見てください。

5 重度の問題が起きたら？

何を調べるべきでしょうか？

- ・あなたが心配している事柄についてお調べください。例えば、重いアレルギー反応、高熱、普通ではないふるまいなどの症状などです。

重いアレルギー反応の症状には、蕁麻疹、顔やのどの腫れ、息苦しさ、速い鼓動、目まい、倦怠感などがあります。これらは通常ワクチンを摂取してから数分から数時間で始まります。

どうしたらいいのでしょうか？

- ・**重いアレルギー反応**またはその他の緊急事態で待つことができないとお考えの場合は、9-1-1 にお電話し、お近くの病院にかかってください。そうでなければ、担当の医療従事者にお電話ください。

後ほど、その反応を Vaccine Adverse Event Reporting System (VAERS) (ワクチン有害事象報告システム) に報告する必要があります。担当の医師はこの報告をファイルする必要があります。またはあなたご自身が VAERS ウェブサイト www.vaers.hhs.gov を通し、または 1-800-822-7967 にお電話し、報告することもできます。

VAERS は医学的なアドバイスを提供しません。

6 全米予防接種傷害補償プログラム

The National Vaccine Injury Compensation Program (VICP) は連邦プログラムであり、特定のワクチン接種により障害を受けた可能性のある方々に補償するため設立されました。

ワクチン接種により障害を受けたかもしれないと思われる方は、1-800-338-2382 にお電話いただくか、VICP ウェブサイト www.hrsa.gov/vaccinecompensation を参照になり、このプログラムについてと申請の提出方法についてご覧ください。補償を受けるための申請を提出するには期限があります。

7 詳しい情報を知るには？

- ・担当の医療従事者にお尋ねください。医療従事者はワクチンの添付文書をあなたにお渡しするか、その他の情報源をお勧めする場合があります。
- ・現地または州の健康管理部門にお電話ください。
- ・Centers for Disease Control and Prevention (CDC) (疾病管理予防センター) の連絡先：
 - 電話 1-800-232-4636 (1-800-CDC-INFO) または
 - CDC のウェブサイト www.cdc.gov/vaccines を見てください

Vaccine Information Statement

Varicella Vaccine

2/12/2018

Japanese

Office use only



42 U.S.C. § 300aa-26

Japanese

正確な予防接種状況、予防接種についての評価、今後の予防接種の推奨スケジュールを医療提供者に提供するため、情報は Michigan Care Improvement Registry (ミシガン幼児予防接種記録所)に送られます。予防接種情報が同記録所に送られないよう医療提供者に要請できる権利が誰にでもあります。